

## 小・中学校の連携を通し、豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

### — 生命を尊重し、よりよい生き方を考える児童・生徒の育成をめざして —

#### I. 研究の内容

##### 1. 研究仮説

小中学校の9年間を見通し、各教科、特別活動、学校行事等と道德教育との関連を考え、道德時間の指導の工夫を行い、子どもの実態にあった具体的な活動や体験を設定することにより、豊かな心をはぐくむことができるであろう。

##### 2. 研究の具体的内容と成果

###### (1) 道德教育の充実

- ・ 日常の道德授業時間の確保と内容の充実を図った。
- ・ 道德の時間と他教科、特活、学校行事等との関わりや関連を考えた授業を行った。
- ・ 道德の時間に地域の人材を活用した。
- ・ 道德の時間の授業公開を全学年で行った。
- ・ 「心のノート」や山梨県教育委員会作成の各種資料を活用した。
- ・ 学校生活の言動の中で道德性に気づかせるとともに、道德的実践活動を日常の道德の時間に生かすようにしてきた。

###### (2) 小・中学校が連携した道德教育の充実

- ・ 声かけあいさつ運動を推進し、あいさつのできる子どもの育成に努めた。
- ・ ゴミ拾い活動や花いっぱい活動を推進し、美しい地域作りをする子どもの育成に努めた。地域が広いため、4校の児童生徒が同じ場所に集まって一斉に活動することはできなかったが、それぞれの学校で同じ意識を持って実施した。アルミ缶回収やエコキャップ回収は、中学校からの呼びかけで4校連携して取り組んだ。
- ・ 標語の作成に取り組み、4校の作品を地域の文化祭で掲示し、4校の取り組みを地域の方に知ってもらった。
- ・ 道德時間の充実のため、年間計画の見直しを行い、道德教育全体計画の行事との関連表を情報交換しながら作成した。
- ・ 塩山北中学校区のブロック研究を活用し、小中の連携を深めた。2ブロックの研究組織を立ち上げ、情報交換や実践活動についての研究を深めた。5月27日大藤小、6月4日神金小、6月8日玉宮小、6月29日と7月8日塩山北中で公開研究会を行った。
- ・ 講演会、授業研究等、必要に応じて情報の提供を行い交流と研究を深めた。  
(道德講演会、授業参観、研究授業への出席、研究主任や校長の話し合い等)

### (3) 授業の公開の開催

- ・塩山北中学校校区に公開【6月8日】
  - 2年 「生まれてきてくれてありがとう」(生命尊重) 竹川由美子教諭
- ・授業参観日【7月3日】
  - 1年 「玉宮のホタル」(生命尊重) 菊島 敬子教諭
  - 2年 「大切な食事」(生命尊重) 竹川由美子教諭
  - 4年 「よろこびをあたえる味」(生命尊重) 山元和香子教諭
  - 5年 「水神池にこめた思い」(郷土愛) 田辺真由美教諭
- ・道徳授業公開研究発表会【10月27日】
  - 3年 「明るくなった友だち」(友情・信頼, 助け合い) 吉岡美奈子教諭
  - 5.6年 「白いつえのおねえさん」(思いやり・親切) 三森 敏彦教諭

### (4) 成果の検証

- ・児童 道徳意識調査(5月・1月実施)や学校評価などで児童の変容を見た。

### (5) 家庭, 地域と連携した道徳的実践活動の推進

#### ①道徳実践活動の内容

- ・有価物回収作業(5, 6年)
- ・クリーン作戦(全児童)
- ・あいさつ運動(全児童)
- ・花いっぱい運動, バケツ稲作り(全児童)
- ・サツマイモの苗植え・収穫(全児童)
- ・高齢者との交流 手紙(全児童), 昔の遊びの会(1年)
- ・収穫祭(地域の方との触れ合い)(全児童)
- ・親子読書を実施し, 親子の触れ合いや意見の交流を図った。(全学年)

#### ②小・中学校が連携した道徳的実践活動の概要

- ・声かけあいさつ運動
- ・ゴミ拾い活動(クリーン作戦)の推進
- ・花の栽培活動
- ・アルミ缶, エコキャップの回収
- ・郷土愛の標語の募集・作成及び, 地域の文化祭で4校の作品の掲示

## II 成果物

- ・9年間を見通した道徳教育の指導計画, 道徳プラン
- ・学校行事における道徳教育指導計画
- ・4校共通化した形式の道徳授業の指導案
- ・ゲストティーチャーの活用・自作資料や役割演技等工夫した道徳授業
- ・3つの柱(礼儀, 生命尊重, 郷土愛)にそった標語
- ・アルミ缶回収 (ミニ児生連立ち上げ) (研究主任 竹川由美子)